

まちづくり条例に基づく報告書

令和5年8月30日

(あて先) 鎌倉市長



住所 横浜市西区楠町 14-5 タイムズビル 4F
 報告者 氏名 株式会社ホームランド 代表取締役 小野洋一郎
 電話 045 (290) 9670

〔 法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。 〕

次のとおり報告します。

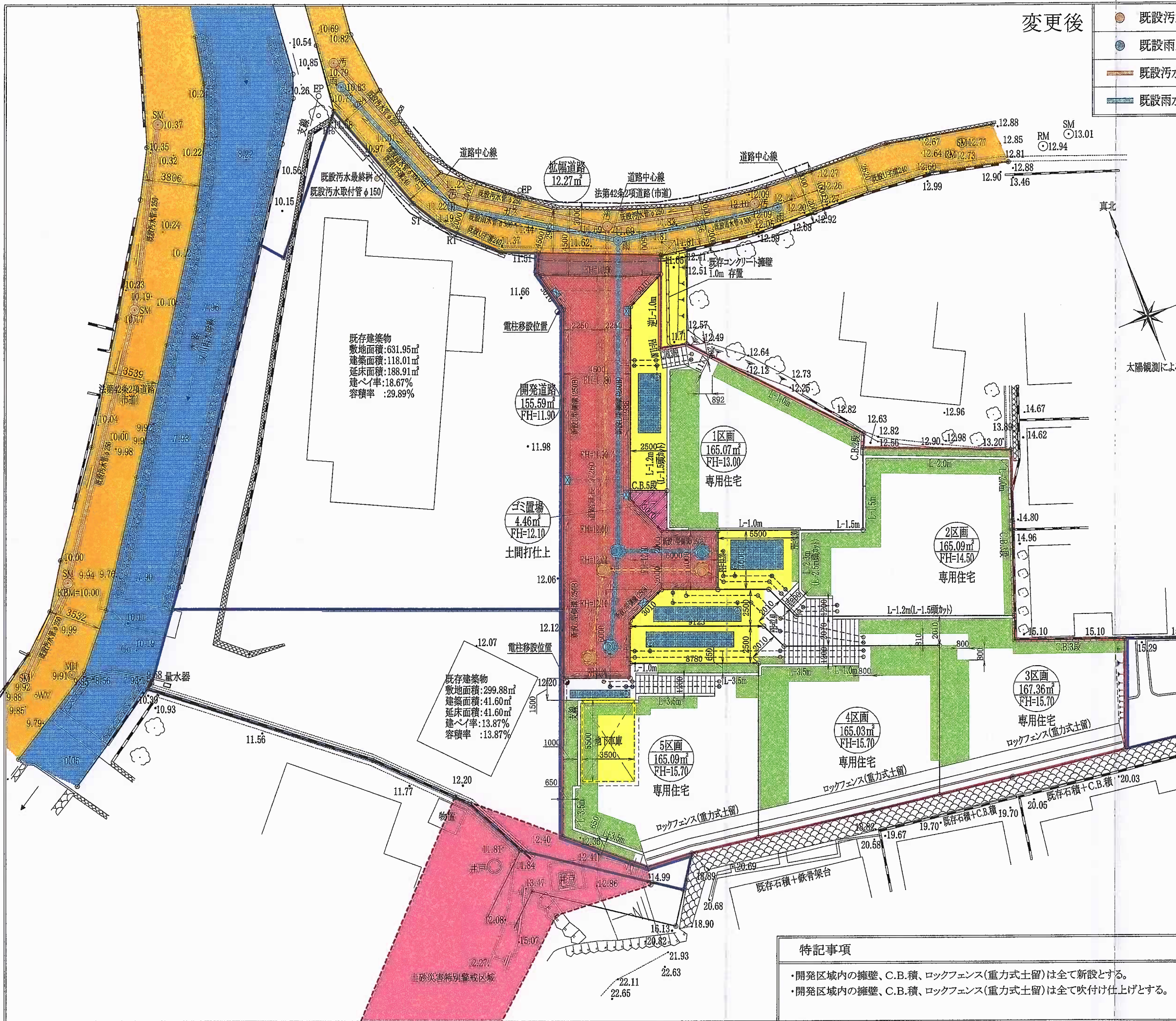
<p>該当条文</p>	<p><input type="checkbox"/> 第25条 (大規模土地取引行為) <input type="checkbox"/> 第26条 (大規模開発事業) <input checked="" type="checkbox"/> 第36条 (中規模開発事業) <input type="checkbox"/> 第48条 (適用除外) <input type="checkbox"/> その他 ()</p>
<p>土地所有者</p>	<p>住所：横浜市西区楠町 14 番地 1 氏名：株式会社ユーズ 代表取締役 山本 佳嗣</p>
<p>土地の所在</p>	<p>鎌倉市腰越字御所 1615 番外 4 筆の各一部</p>
<p>面積</p>	<p>999.96 m²</p>
<p>報告内容</p>	<p>別紙参照</p>

(注) 必要に応じて、事業区域案内図、公図の写し、土地の全部事項証明書、土地利用方針図、予定建築物の平面図、立面図 (建築物の建築以外を目的とする場合は、造成計画断面図) を添付してください。

報告内容

- ごみ減量対策課の指示によりゴミ置場の位置の変更。
- 植栽設置の為、5区画南側のL-3.5m擁壁の位置の変更。
- 造成計画平面図の切土部分の着色漏れを修正。

造形計画断面図に変更なし。



区分	面積(m ²)	比率(%)	備考
宅地	827.64	82.77	
新設道路	155.59	15.56	帰属
拡幅道路	12.27	1.23	帰属
ゴミ置場	4.46	0.44	帰属
合計	999.96	100.00	

新設汚水1号人孔(φ900)
新設雨水1号人孔(φ900)
新設污水取付樹(φ300)及び取付管(φ150)
新設雨水取付樹(φ300)及び取付管(φ150)
新設汚水塩ビ樹
新設雨水塩ビ樹
新設雨水貯留浸透施設
新設污水管φ200(開発道路)
新設雨水管φ250(開発道路)
新設L型中間柵及び取付管(φ150)
排水方向

※宅内排水樹は塩ビ樹φ200、深さ120cm未満とする。また、排水管は塩ビ管φ100、勾配2~8%とする。(階段部分を除く)

黄土 既存道路
茶 新設道路
緑茶 拡幅道路
青 河川・水路
黄 青地
緑 公園・緑地
桃 ゴミ集積施設
黄 駐車場
赤 土砂災害特別警戒区域
緑 緑化

工事名称
鎌倉市腰越開発工事

図面名称
土地利用計画図

図面No.
*

作成日
2023.06.19

変更日
2023.08.25

担当
M0R1

SCALE
S=1/250

特記事項

- 開発区域内の擁壁、C.B.積、ロックフェンス(重力式土留)は全て新設とする。
- 開発区域内の擁壁、C.B.積、ロックフェンス(重力式土留)は全て吹付け仕上げとする。

変更前

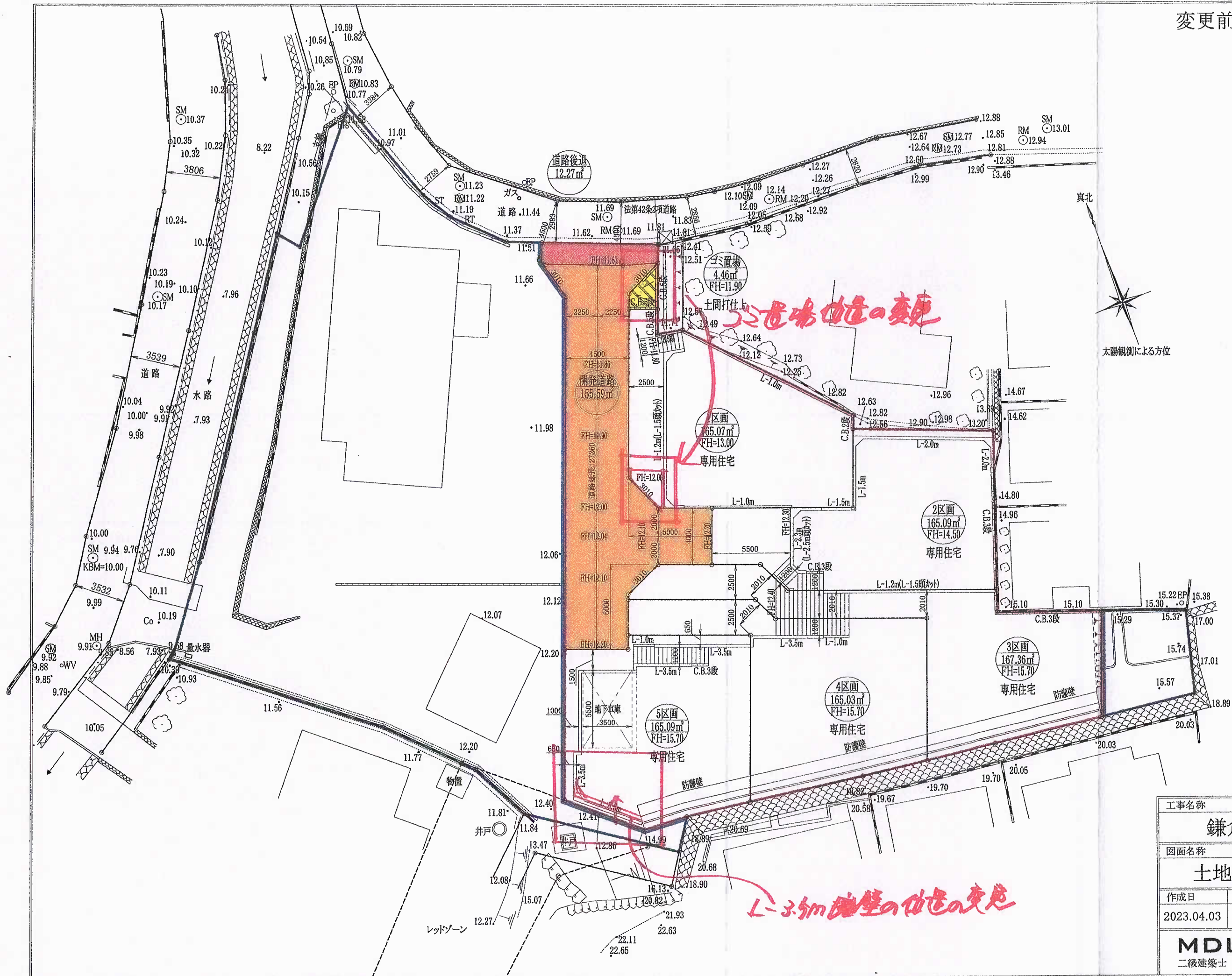
凡例

—●— 開発区域境界線

○ 区画名称
○○○㎡ 敷地面積
○○○ 計画地盤高

土地利用計画の区分表

区分	面積(㎡)	比率(%)
宅地	827.64	82.77
開発道路	155.59	15.56
道路後退	12.27	1.23
ゴミ置場	4.46	0.44
合計	999.96	100.00



真北

太陽観測による方位

色	用途
宅地	
橙	開発道路
茶	道路後退
黄	ゴミ置場

工事名称
鎌倉市腰越開発工事

図面名称
土地利用計画図

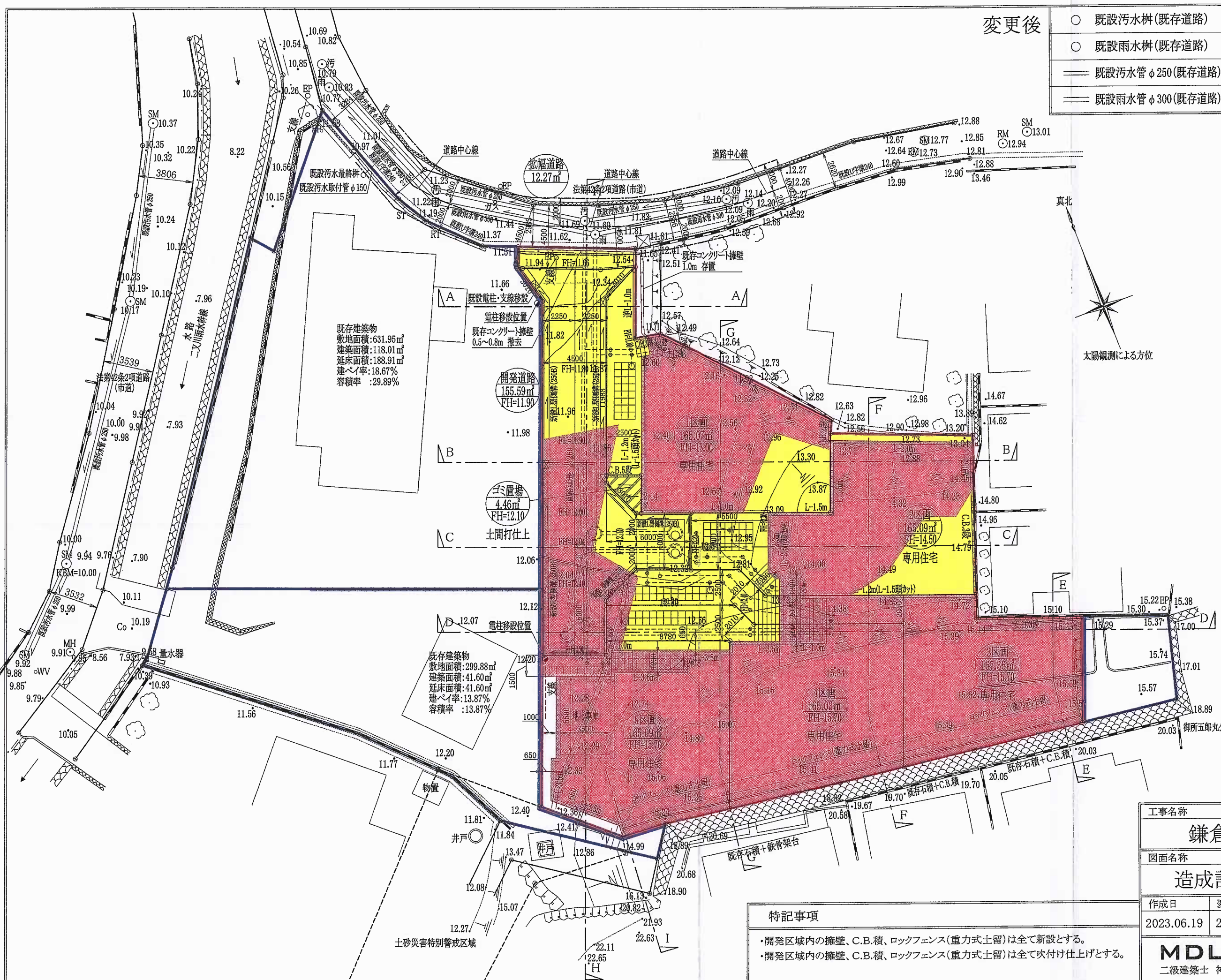
図面No.

作成日	変更日	担当	SCALE
2023.04.03	2023.04.21	MOR1	S=1/250

MDL 二級建築士事務所
二級建築士 神奈川県知事登録 第34101号 森 俊之

ゴミ置場の位置の変更

L-3.5m 防壁の位置の変更



変更後

○	既設汚水樹(既存道路)
○	既設雨水樹(既存道路)
—	既設汚水管φ250(既存道路)
—	既設雨水管φ300(既存道路)

凡例	
—	開発区域境界線
○	区画名称
○	敷地面積
○	計画地盤高

特記事項

- 盛土部分は段切り施工とし、良質土にて30cm毎に転圧し埋戻すこと。
- 擁壁等の底盤下が盛土となる場合は、支持地盤までを改良土又は碎石にて埋戻すこと。
- 法面の保護は張芝処理とすること。

○	新設汚水1号人孔(φ900)
○	新設雨水1号人孔(φ900)
○	新設汚水取付樹(φ300)及び取付管(φ150)
○	新設雨水取付樹(φ300)及び取付管(φ150)
○	新設汚水塩ビ樹
○	新設雨水塩ビ樹

新設雨水貯留浸透施設

==== 新設汚水管φ200(開発道路)

==== 新設雨水管φ250(開発道路)

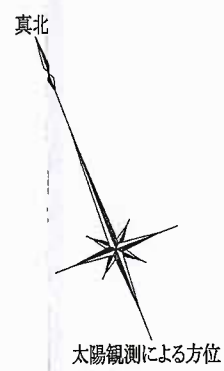
--- 新設L型中間樹及び取付管(φ150)

→ 排水方向

※室内排水樹は塩ビ樹φ200、深さ120cm未満とする。また、排水管は塩ビ管φ100、勾配2~8%とする。(階段部分を除く)

切盛土法面の勾配は特記なき限り、材料・土質にかかわらず、切土法面は45°以下、盛土法面は30°以下とする。

黄	切土	赤	盛土
切土面積	274.65㎡		
盛土面積	712.13㎡		
切土土量	80.40㎡		
盛土土量	444.44㎡		



特記事項

- 開発区域内の擁壁、C.B.積、ロックフェンス(重力式土留)は全て新設とする。
- 開発区域内の擁壁、C.B.積、ロックフェンス(重力式土留)は全て吹付け仕上げとする。

工事名称			
鎌倉市腰越開発工事			
図面名称		図面No.	
造成計画平面図		*	
作成日	変更日	担当	SCALE
2023.06.19	2023.08.25	MOR1	S=1/250
MDL 二級建築士事務所			
二級建築士 神奈川県知事登録 第34101号 森 俊之			

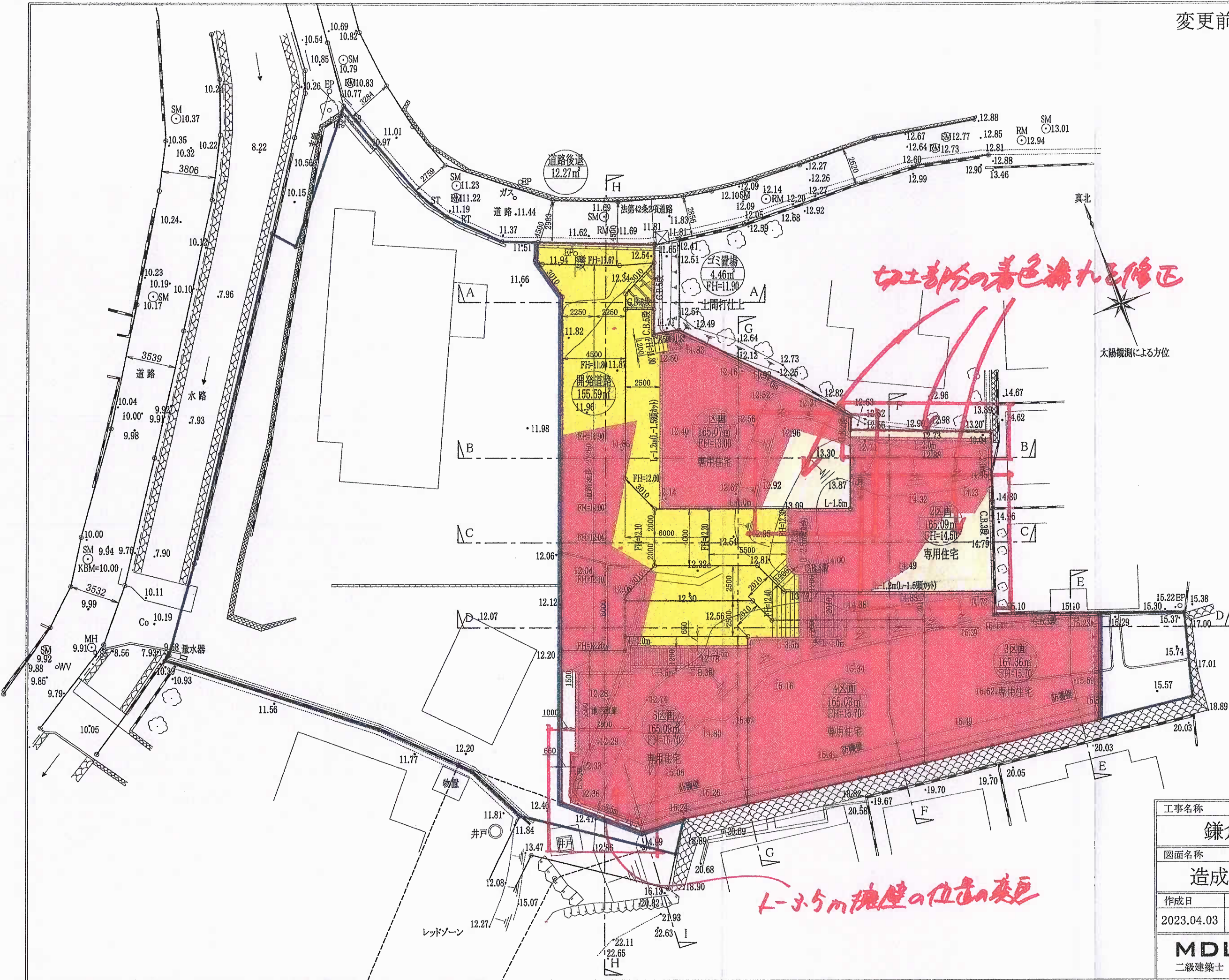
変更前

凡例

- 開発区域境界線
- 区画名称
○○○㎡ 敷地面積
○○○ 計画地盤高

特記事項

- ・盛土部分は段切り施工とし、良質土にて30cm毎に転圧し埋戻すこと。
- ・擁壁等の底盤下が盛土となる場合は、支持地盤までを改良土又は碎石にて埋戻すこと。
- ・法面の保護は張芝処理とすること。
- ・切盛土法面の勾配は特記なき限り、材料・土質にかかわらず、切土法面は45°以下、盛土法面は30°以下とする。



盛土面積・土量の変更。

	黄 切土	赤 盛土
切土面積	274.65㎡	714.22㎡
盛土面積		714.22㎡
切土土量	80.40m³	
盛土土量		450.08m³

L-3.5m擁壁の位置の変更

工事名称			
鎌倉市腰越開発工事			
図面名称		図面No.	
造成計画平面図		*	
作成日	変更日	担当	SCALE
2023.04.03	2023.04.21	MOR1	S=1/250
MDL 二級建築士事務所			
二級建築士 神奈川県知事登録 第34101号 森 俊之			